

Oak Wind Symphony

第36回定期演奏会



2019/1/6 sun
横浜市・磯子公会堂

後援：横浜市文化観光局



ごあいさつ

Oak Wind Symphony
団長 竹内 連

本日はお忙しい中、私どもの演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

私どもOak Wind Symphonyは、前身である柏陽高校吹奏楽部OBバンドでの約18年の活動後、2000年8月に一般バンドとして誕生して19年目を迎えました。年2回の定期演奏会のほか、毎夏の吹奏楽コンクールでは、これまでに神奈川県代表として東関東大会に通算9回の出場を果たしております。皆様の温かいご支援のもと、ここ横浜の地でこのように長く安定的に活動できること、団員一同心より感謝申し上げます。

本日の演奏会は全3部構成となっており、第3部のポップスステージでは「昭和 vs 平成 歌謡対決」をテーマに、昭和・平成のヒット曲がしのぎを削り合います。皆さまはどちらの時代の曲に馴染みが深いでしょうか。ちなみに、本日のステージ上の団員は、昭和生まれが37名、平成生まれが28名ということで、数の上での軍配は昭和にあり? いやいや、しかし、平成生まれの団員の頑張りにも期待したいところです。ぜひ演奏会の最後までお楽しみいただき、勝敗の行方を見守っていただけますと幸いです。

なお、次回の演奏会は、5月19日(日)(於:カルツツカワサキ)ということで、改元後の新しい時代での開催となります。つまり、本日の演奏会は平成最後の当団の演奏会ということになります。去る時代に思い残すことがないよう精一杯の演奏をお届けしたいと思います。

最後になりましたが、日頃より熱心にご指導いただいている榮村正吾先生と、本日の演奏会に後援いただいている横浜市文化観光局、そしてご来場の皆様に厚く御礼申し上げます。

常任指揮者

榮村正吾

1991年東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。

在学中に安宅賞受賞、東京文化会館新人音楽会に出演。シェナ・ウインド・オーケストラのサクソフォーン奏者として1年間活躍。卒業後アサヒビール芸術文化財団の助成金を受け渡仏。フランス国立セルジー・ポントワース音楽院高等科に入学。1992年、パリ国際コンクール第2位受賞。同年同音楽院を首席で卒業、1993年、レオポルド・ベラン・コンクールにおいて第1位および大賞受賞。同年同音楽院演奏科を修了。

フランスをはじめ、ベルギー、イタリア、デンマーク等ヨーロッパ各国において演奏会、音楽祭に出演、好評を博す。帰国後東京文化会館において第1回リサイタルを開催。NHK-FM土曜リサイタルに出演。第10回ワールドサクソフォンコングレス(イタリア)、同第11回(スペイン)にそれぞれ参加。

サクソフォーンを佐藤典夫、大室勇一、富岡和男、須川展也、ジャン=イブ・フルモーの各氏に師事。

現在、シェナ・ウインド・オーケストラ サクソフォーン奏者、昭和音楽大学講師など幅広く、精力的に活動している。



第 1 部

ハノーヴァーの祭典

フィリップ・スパーク

クワイエット・モーメント

フィリップ・スパーク

ニュー・ロンドン・ピクチャーズ

ナイジェル・ヘス

I Millennium Bridge

II London Eye

III Congestion Charge

第 2 部

BIG BAND STAGE

It's a small world

Richard M. Sherman · Robert B. Sherman / Kenichi Akatsuka

Time Stream

Sammy Nestico

Over the Rainbow

Harold Arlen / Alan Jay Lerner

Stardust Fantasy

第 3 部

昭和 vs 平成 歌謡対決

およげ!たいやきくん in Swing

佐瀬 寿一／arr. 福田 洋介

SMAP ヒットメドレー

arr. 金山 徹

ハナミズキ

マシコタツロウ／arr. 金山 徹

ジャパニーズ・グラフィティ IX

arr. 金山 徹

司会 ニシハラフミコ



■プロフィール

ニシハラフミコ

役者。企画ユニット「いちごドロップ」のひとり。芝居の世界の片隅にひっそりと生息し続けている。各種演奏会の司会として、年に数回マイクを握る。演奏に合わせて朗読をすることがある。

隨時ご依頼受付中。

★お問い合わせ

<http://ur0.link/A1LR>

15xdrop@gmail.com

第 1 部

ハノーヴァーの祭典

フィリップ・スパーク

この曲の作曲家、フィリップ・スパークは「オリエント急行」、「宇宙の音楽」、「陽はまた昇る」、「ドラゴンの年」など、吹奏楽界において多くの名曲を残しています。1曲目にお送りする「ハノーヴァーの祭典」も、そんなスパークの曲において有名な曲で、とあるアメリカの市民バンドのために作曲されました。冒頭のホルンをはじめとした金管楽器の華やかなメロディーラインから一度静かなコラールに落ち着きます。再びトランペットのファンファーレで曲は動き出し、躍動的な木管楽器、スネアドラムをはじめ各楽器が色々な場面を見せながら再び冒頭の金管メロディに戻ります。スパークならではの活気のある演奏をどうぞお楽しみください！

(Horn／高橋志帆)

重厚なファンファーレから始まったのも束の間すぐに曲調が変わり、新時代のロンドンを象徴するかのようなエネルギーで希望に満ち溢れた音楽が続き、そのまま華々しく幕を閉じます。



【第2楽章：London Eye】

ロンドンの街並みを一望出来る新名所、ロンドン・アイ。直径135メートル、1つのポッドの定員が25名という大観覧車で、第1楽章のミレニアム・ブリッジと同じくミレニアム事業の一環として建設されました。

まるで観覧車の動きと共に少しずつ変わってゆく風景を表すかのように、ゆったりと音楽は進みます。

美しく、どこか懐かしさも感じさせるようなホルンのソロから始まり、その旋律が様々な楽器へと受け継がれやがて感動的なトゥittiを迎えます。



【第3楽章：Congestion Charge】

「車の平均速度がヴィクトリア朝時代の馬車並みである」と例えられるほど渋滞の酷いロンドン市街地・中心部。

楽章名の「コンジェスチョン・チャージ」は、特定のエリア内に乗り入れる際に課金されるシステムで、渋滞緩和と公共交通機関の利用促進のため2003年に導入された言わば「渋滞税」の事です。

車のクラクションや渋滞への苛立ち、街を行き交う人々の喧噪…第1楽章・第2楽章とは対照的にロンドンの日常の光景が実際にリアルに描かれていて、これにより1つの楽曲の中で変わるものと変わらないもの・1つの都市の時代の移り変わりが表現されています。

クライマックス間近の演出にも注目してお聴きください！

(Euphonium 松谷俊介)

クワイエット・モーメント

フィリップ・スパーク

「静寂のとき」と訳せるこの作品は、53歳という若さでこの世を去った、アメリカのバンド・ディレクター、ジェームズ・フィリップ・クロフタの思い出のために、彼の家族からの依頼により作曲されました。

死者の思い出のための曲ではありますが、決して暗く悲しい曲ではなく、終始穏やかで思いやりに満ちた美しいメロディが続いています。あたかも、彼の家族や彼の育てた多くの生徒たちの慈愛と感謝の気持ちが結晶となり、音楽に昇華したような雰囲気の作品となっています。

(Percussion／志水栄雄)

ニュー・ロンドン・ピクチャーズ

ナイジェル・ヘス

英国ケンブリッジ大学で作曲を学ぶ傍ら、著名な学生演劇サークルで音楽監督を務め活躍したナイジェル・ヘス。氏の作品の中でも人気の高い「イーストコースト・ピクチャーズ」は、当団でも第32回定期演奏会にて取り上げました。

また、フィギュアスケートの浅田真央元選手が2007～2008年のショートプログラムの楽曲として「ヴァイオリンと管弦楽のためのファンタジア」を起用した事で、氏の名前をご存知の方もいらっしゃるのではないかでしょうか？

この「ニュー・ロンドン・ピクチャーズ」は曲名の通り21世紀の新しいロンドンから得た印象を描いた組曲で、氏らしいポップで軽快なフレーズや、雄大な景色を思い起こさせるような美しい情景描写が特徴です。

曲は下記の3つの楽章から成り立っています。

【第1楽章：Millennium Bridge】

西暦2000年を記念したミレニアム事業の一環として建設された、南イングランドを流れるテムズ川に架かるミレニアム・ブリッジ。1710年に建設された歴史あるセントポール大聖堂と、テートモダン(近現代美術館)を結んでいます。

BIG BAND STAGE



It's a small world

東京ディズニーランドの定番アトラクション、It's a small worldのテーマ曲。戦争のない平和な世界をテーマにしたこのアトラクションは、世界各地のディズニーのテーマパークにあり、アトラクションの構成はその国ごとに少しずつ異なっているそうです。曲自体は日本では「小さな世界」として、「ミッキーマウスマーチ」や「星に願いを」と並んでディズニーを象徴する曲として愛されています。今回は中塚武氏によるアルバム、「Disney piano jazz "HAPPINESS" Deluxe Edition」のバージョンをもとにしたアレンジでお送りします。

Time Stream

グレン・ミラーやデューク・エリントンと並ぶビッグバンドの重鎮、カウント・ベイシー。当団のビッグバンドステージでも、毎回のように取り上げてきました。彼の楽団を支えてきたアレンジャーのサミー・ネスティコによるこの曲を、今回はベイシー存命の頃の最後のアルバム、「Fancy Pants」のバージョンでお送りします。

Over the Rainbow

1939年に公開されたミュージカル映画「オズの魔法使い」の挿入歌として、この年のアカデミー歌曲賞を受賞しています。公開以来、映画音楽の枠を超えて様々な場面で演奏されてきています。今回はアラン・ベイロックによる二本のトランペットによるデュエットのアレンジでお送りします。

Stardust Fantasy

1990年代に東京ディズニーランドで行われていた花火のショー“Stardust Fantasy”。このショーでは、ビッグバンドジャズにアレンジされたディズニーの名曲に合わせて多くの花火が夜空を彩りました。使用されている楽曲は、「星に願いを」や「小さな世界」などの定番から、「美女と野獣」や「アラジン」の曲まで多岐にわたっています。ディズニーで始まった今回のビッグバンドステージを、同じくディズニーの名曲たちで締めくくります。

(Trumpet／木村正宏)

MEMBERS

Saxophone

井上 宏美 (Alto Saxophone)
小野 剛司 (Alto Saxophone)
長島 央和 (Alto Saxophone)
梅沢 洋 (Tenor Saxophone)
堀下 美樹 (Tenor Saxophone)
河合 由葵 (Baritone Saxophone)

Trumpet

阿部 泰子 (Trumpet)
木村 正宏 (Trumpet)
上妻 知世 (Trumpet)
貞松 正樹 (Trumpet)
藤田 哲朗 (Trumpet)

Trombone

高渕 良介 (Tenor Trombone)
鈴木 彩織 (Tenor Trombone)
戸井 真智 (Tenor Trombone)
石毛 遥 (Bass Trombone)

Rhythm

高橋 志帆 (Piano)
池見 浩 (Drums)
松浦 清人 (Bass)

MC

ニシハラフミコ



昭和 vs 平成 歌謡対決

本日は平成最後の定期演奏会です。第3部は「昭和 vs 平成 歌謡対決」ということで、昭和・平成のヒット曲をお届けします。

私の父親もGSやムード歌謡の歌手として昭和歌謡の一端を担っておりました。私が生まれる前の昭和44年にORICONランキングにもチャートインして、57位だったそうです。うーん、なんだか微妙な順位(笑)。いったいどこまでを『ヒット曲』というのでしょうか?

本日はみなさんお馴染みの(もっとランキングが上位の?)曲がたくさん登場します。当団が誇る演出係の演出もどうぞお楽しみに!

タイトル	歌手	シングル発売	ORICON週間最高位(年間)	その他
およげ!たいやきくん	子門真人	昭和50年12月25日	1位 (昭和51年度 1位)	フジテレビ『ひらけ!ポンキッキ』
イミテイション・ゴールド	山口百恵	昭和52年 7月 1日	2位 (昭和52年度 20位)	昭和52年NHK紅白歌合戦
秋桜	山口百恵	昭和52年10月 1日	3位 (昭和52年度 35位)	昭和52年日本レコード大賞歌唱賞
プレイバック Part 2	山口百恵	昭和53年 5月 1日	2位 (昭和53年度 15位)	ザ・ベストテン1位、昭和53年NHK紅白歌合戦 紅組トリ
いい日旅立ち	山口百恵	昭和53年11月21日	3位 (昭和54年度 20位)	ザ・ベストテン1位
がんばりましょう	S M A P	平成 6年 9月 9日	1位 (平成 6年度 33位)	平成7年選抜高等学校野球大会入場行進曲
SHAKE	S M A P	平成 8年11月18日	1位 (平成 9年度 19位)	平成8年NHK紅白歌合戦
夜空ノムコウ	S M A P	平成10年 1月14日	1位 (平成10年度 2位)	平成10年1月度月間シングルチャート1位
世界に一つだけの花	S M A P	平成15年 3月 5日	1位 (平成15年度 1位)	ORICON年間 平成16年度11位、平成28年度12位
ハナミズキ	一青窈	平成16年 2月11日	4位 (平成16年度 30位)	オリコン125週連続チャートインのロングヒット

せっかく『昭和 vs 平成』なので、一部の団員から苦情がありそうですが、出演者名簿に昭和生まれ(S)と平成生まれ(H)を表記しています。

(プログラム係)

Conductor

榮村正吾 (S)

出演者名簿

第1部・第3部

☆：団内指揮者 ♪：パートリーダー

Flute & Piccolo

♪ 荒井みちえ (S)
石塚琳子 (H)
大熊真悠子 (H)
小林みなほ (H)
中俣美幸 (H)

E♭ Clarinet

♪ 広島愛子 (S)
B♭ Clarinet
石井敬子 (S)
岩下直紀 (S)
志水玲子 (S)

Alto Saxophone

池田彩紀 (H)
井上宏美 (S)
☆ 小野剛司 (S)
木村真理江 (S)
♪ 関香子 (S)
長島央和 (S)

Trumpet

& Flugelhorn
阿部泰子 (S)
木村愛 (S)
木村正宏 (S)
上妻知世 (H)
♪ 佐々木結衣 (H)
貞松正樹 (S)
鳴川智也 (S)
藤田哲朗 (S)

Euphonium

大川那奈 (H)
川口莉奈 (H)
♪ 松谷俊介 (S)
五十嵐史生 (S)
伊藤優里 (S)
森田遼太 (H)

Oboe & English Horn

池田茉莉 (H)
大植めぐみ (H)
♪ 松林雄一 (S)

Tenor Saxophone

高島百合野 (S)
竹内連 (S)
鳴川みづき (H)
肥野匠真 (H)
松林祥代 (S)

Tenor Saxophone

梅沢洋 (S)
堀下美樹 (H)

Trombone

♪ 草彌真彩 (H)
高渕良介 (H)
鈴木彩織 (H)
中野雄次 (S)

String Bass

松浦清人 (S)

Bassoon

奥田三香子 (H)
望月智文 (S)

Baritone Saxophone

松宮千恵 (H)
和田愛 (H)
河合由葵 (H)

高渕良介 (H)
鈴木彩織 (H)
中野雄次 (S)

Percussion

池見浩 (S)

Alto Clarinet

河村俊志 (S)

Horn

梅村幸世 (S)

高橋研介 (S)

Trombone

大滝夏織 (S)

Bass Clarinet

清水育子 (S)
戸井瑠美 (S)

Baritone Saxophone

☆ 高橋志帆 (H)
田中美紗樹 (H)
友寄浩充 (S)

高橋研介 (S)

Bass Trombone

大滝夏織 (S)

田中遥 (H)

Percussion

田中祐一 (S)

森岡紀子 (H)



Oak Wind Symphony



次回演奏会のご案内

Oak Wind Symphony 第37回 定期演奏会

日時： 2019年5月19日（日）
13:30開場／14:00開演

場所： カルッツかわさき ホール
(川崎市スポーツ・文化総合センター)

曲目：
♪ ミシシッピ組曲 <F.グローフェ>
♪ Mont Fuji (モン・フジ)
-富士山・北斎の版画に触発されて-
<真島俊夫> ほか

詳細が決まりましたらホームページ等でお知らせします
<http://oak-wind.sakura.ne.jp/oak/>

《団員募集について》

◎ 募集条件

高校生以下不可(高校卒業見込の3月から可)
基本的に、ご自身で楽器を用意できる方(打楽器以外)
初心者の方は当団側で受入態勢を整えられない場合があります

◎ 練習日 : 原則毎週土曜日夕方(本番前は追加練習あり)
◎ 練習場所 : 横浜市南区を中心とした公共施設
◎ 連絡先 : meet-oak@oakwindsymphony.sakura.ne.jp



Oak Wind Symphony 公式Twitter

演奏会のお知らせや日常の出来事などをご紹介しています。
ぜひフォローしてくださいね！

@oak_wind



Oak Wind Symphony
@oak_wind

2009年8月に結成されたアマチュア吹奏楽団「Oak Wind Symphony」です。神奈川県横浜市を拠点に、年に2回の定期演奏会のほか、吹奏楽コンクールや地域でのイベントに参加するなど活動を行っています。演奏会のお知らせや日常の出来事をお届けします！

© 神奈川県横浜市 oak-wind.sakura.ne.jp/oak/